

山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

※自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

事業所番号	672600319
法人名	有限会社 オキコウ
事業所名	グループホーム 薬師温泉
訪問調査日	平成 19 年 6 月 13 日
評価確定日	平成 19 年 8 月 10 日
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月25日

【評価実施概要】

事業所番号	672600319		
法人名	有限会社 オキコウ		
事業所名	グループホーム 薬師温泉		
所在地 (電話番号)	東置賜郡川西町大字西大塚字横道1354-13 (電 話) 0238-46-2255		
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会		
所在地	山形市松波四丁目1番15号		
訪問調査日	平成19年6月13日	評価確定日	平成19年8月10日

【情報提供票より】(平成18年12月13日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年7月24日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤 13 人, 非常勤	人, 常勤換算 12 人

(2) 建物概要

建物形態	○併設/単独	○新築/改築
建物構造	木造平屋建て	造り
	1階建ての	階 ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000円 1ヵ月30日の場合	その他の経費(月額)	300円/1日 他、実費
敷 金	有(円)	○無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 800 円		

(4) 利用者の概要(12月13日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	4 名	要介護2	6 名		
要介護3	7 名	要介護4	1 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 85 歳	最低	73 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	斎藤内科循環器科クリニック、公立置賜総合病院
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

木造平屋の数寄屋造りの建物の中は、ゆったりとした落ち着いた雰囲気があり、併設されているデイサービスと共に、掛け流しの温泉を楽しむことができます。また、居室は8畳ほどの広さがあるため、夫婦で利用することや利用者の家族が泊まることもできるよう配慮されています。「尊厳の保持」を理念としながら、慣れ親しんだ地域の中で高齢者、家族が安心して生活できるよう、管理者、スタッフ、関係者の協働によるサービス提供を目指してきており、中身の濃い運営推進会議が2ヶ月に1度開催されていることもホームの特徴の一つとなっています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	手摺りの安全かつ有効な利用については、利用者の動線を考慮しながら手摺りの設置を再検討して改善している。また、職員の研修についても、継続的な研修が一部実施されてきており、会議での報告や復命書の回覧も行われている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価に職員全員で取り組み、前回の改善事項についても重点的に話し合い、改善に取り組んだ。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議では、「利用者の状況や活動の報告」「ヒヤリハットと事故報告」「看取りと終末期ケア」などがテーマとして取り上げられ、すべての家族に参加の声をかけしており、参加できなかった家族には資料や議事録が送付されている。また、できるだけ多くの職員が出席できるような配慮もされている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	面会や運営推進会議の際に、気軽に話しができ、意見を出しやすい雰囲気づくりに努めており、出された意見を運営に反映し、苦情窓口も設置している。また、必要に応じて医療関係者の連携により、本人や家族の不安にも適切に対応している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	地元の幼稚園との交流、地区文化祭への参加、見学などが行われており、また、町内の中学生や一般のボランティアの受け入れも実施され、隣接する薬局や他事業所とのかかわりもできつつあるが、民家が点在していることもあり、町内会への加入はしておらず地域住民との交流が今後の課題となっている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「尊厳の保持」を理念とし、職員全員が地域密着型サービスの意義を理解し、その人らしい生活が送れるよう支援が行われており、併設するデイサービス利用者からグループホーム利用者に移行した方もいる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は共に、日常の実践においてまた、ミーティング時等に理念の共有、確認を行いながら、利用者一人ひとりの希望が実現されるようサービスの提供に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元の幼稚園との交流、地区文化祭への参加、見学などが行われており、また、町内の中学生や一般のボランティアの受け入れも実施されている。	○	隣接する薬局や他事業所とのかかわりもできつつあるが、民家が点在していることもあり、町内会への加入はしておらず、地域住民との交流が今後の課題となっている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価に職員全員で取り組み、前回の改善事項についても重点的に話し合い、改善に取り組んだ。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、「利用者の状況や活動の報告」「ヒヤリハットと事故報告」「看取りと終末期ケア」などがテーマとして取り上げられ、すべての家族への参加の声かけをしており、参加できなかった家族には資料や議事録が送付されている。また、できるだけ多くの職員が出席できるような配慮もされている。		

山形県 グループホーム薬師温泉

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営や利用者支援について、市町村と連携しながらサービスの質の向上に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>日々の暮らしぶり、健康状態、かかりつけ医への受診状況、預り金と支出状況について、お便り等で毎月家族に報告が行われている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会や運営推進会議の際に気軽に話しができ、意見を出しやすい雰囲気づくりに努めており、出された意見を運営に反映し、苦情窓口も設置している。また、必要に応じて医療関係者の連携により、本人や家族の不安にも適切に対応している。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>普段から併設のデイサービスやユニット間の交流があり、また、職員の異動の際は利用者に混乱のないよう、事前の顔合わせを行うなどしている。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修に参加し、会議での報告、復命書の回覧を行っている。また、救命救急の講習を受けるなどの機会を設けている。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム間のネットワークづくりについては家族からも提案されており、他ホームとの交流研修会について、具体的な実施予定がある。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○馴染みながらのサービス 利用本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活していく上での知恵、料理の仕方、野菜の育て方などを話題にしながら、ホームの生活場面の中で、共に支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人や家族から話を聞き、意向の把握に努めており、自ら意思表示することが難しい場合は、表情、視線、行動からも思いや意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の意向を聞き、必要に応じて医療関係者のアドバイスを受けながら、職員全員で話し合い介護計画を作成している。糖尿病のために自己注射が必要な場合や終末期ケアが必要な場合は、看護師、かかりつけ医とも連携を図って介護計画に反映させている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じた見直しの他、状態の変化がみられた場合には、本人、家族、医師、職員等関係者と話し合い、状況に応じた見直しを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している	かかりつけ医への定期受診、状態の変化に応じた総合 病院への紹介等、適切な医療が受けられるよう支援し ている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき るだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	重度化や終末期に向けた方針について、医療関係者 も参加した運営推進会議で話し合われており、本人、 家族の意向を確認しながら、個々の段階に応じた対応 について全員で方針を共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをし ていない	会議等で日々の関わり合い方を確認し、利用者の尊厳 やプライバシーを損ねない対応を心がけている。また、 面会簿から面会票に切り替え、他の家族や来訪者に対 する家族のプライバシー保護にも努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースやその日の気分を大切にしながら、 強制することなく利用者の希望に添った暮らしを支 援している。		

山形県 グループホーム薬師温泉

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材を採り入れたり、利用者の嗜好に配慮した食事の提供が行われており、食事の準備や片付けは利用者と職員が共に行っている。また、食事制限のある方には調理法や盛り付けの工夫が行われている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	デイサービスの温泉、ホーム内の温泉、家庭風呂と利用者の希望に添った入浴が支援されており、温泉入浴を毎日実施している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	野菜作りや花植え、草むしり、縫い物等生活歴や残存能力を活かした役割、楽しみごとが無理なく行われており、役割を担うことにより日常生活動作の向上が見られる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節や天候に応じて希望者と共にドライブ、散歩、買い物、外食などに出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。	鍵をかけることの弊害を全職員が理解し、日中は鍵はかけずに見守りを徹底しており、外に行きたい方には職員と一緒に出かけ、気分転換を図っている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	町の消防署の協力のもと、利用者と共に防災訓練が行われているが、近隣に民家が少ないことから、地域の人々の協力を得られるような働きかけが行いにくい。	○	災害対策について、地域の人々の協力がより得られる方法や地元消防団との連携方法について、運営推進会議や市町村との連携の場面でも検討を進めていくことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者個々に応じた食事量、味付け、形態で食事が提供されており、メニューは定期的にデイサービスの厨房職員に目を通してもらいアドバイスを受けている。また、1日の食事、水分の摂取量が記録されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を取り入れたさりげない装飾や写真の掲示が上手になされており、落ち着いた生活空間となっているが、リビング・食堂にトイレが近い位置にあるため、トイレに出入りする方の姿がリビング・食堂から目に触れ、また、換気扇にホコリが溜まっており、臭気が気になる。	○	リビング・食堂にいる方から、トイレに出入りする方の姿が目につれにくくする工夫と換気扇清掃も含めた換気対策の実行に取り組まれることが期待される。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の協力を得ながら、写真、使い慣れた家具、季節の花などを居室に持ち込みながら、居心地よく過ごせる工夫が行われている。		